

可児市における生ゴミコンポスト支援策に関する意見書

可児市では、生ゴミコンポストを活用した資源循環を推進するため、様々な支援策を展開しています。具体的には、補助金制度や講習会の実施、モニター制度を通じた堆肥化の促進など、家庭向けの支援が整っています。しかしながら、これらの活動が高校生を含む若い世代には十分に認知されておらず、探究活動の一環として生ゴミコンポストに取り組もうとした高校生にもその情報が十分に届いていません。そのため、情報発信の手法を現代の情報収集環境に適応させ、より多くの市民が支援策を活用できる仕組みの整備が求められています。

若者がコンポストをより身近に感じ、持続可能な取り組みとして地域に広がる可能性が高まり、可児市の生ゴミコンポスト普及活動のさらなる促進のため、情報発信の強化と若者への普及活動の充実を求めます。

このような背景を踏まえ、下記について要望いたします。

記

- 1 情報発信経路の最適化について、可児市の情報発信が現在、公式ウェブサイト中心に行われており、特に若年層に情報が届いていないように思われます。そのため、より多くの世代に対し、生ゴミコンポストが有効であることがアピールできるよう、SNS（Instagram, X, TikTok など）での投稿頻度向上やショート動画による周知をすることで、更に市の支援策を効果的に伝えることが可能になります。
- 2 生ゴミコンポストの普及促進のために、高校生や若年層が主体的に学び、情報を発信できる環境を整えることが重要であり、そのための高校生をターゲットにしたワークショップの実施を要望します。
 - ・探究活動の一環として、コンポスト実験や実践ワークショップを開催する。
 - ・可児市役所担当課やその他団体により支援する体制を構築する。
 - ・高校生が地域住民や他の学生に情報を広める役割を担えるような活動の支援。

令和7年3月24日

岐阜県立可児高等学校
2年 平岩 美留

可児市議会議長 澤野 伸 様